

### 治水対策で一部前進も 南中周辺は具体化に至らず

降旗 聡



**問** 吉川駅北口周辺地区、須賀・榎戸地区、南中学校周辺地域の治水対策について。

**答** 吉川駅北口周辺地区は、共保雨水ポンプ場の増強と、流下能力の向上を図るため一部雨水管の布設替えに向け、関連する都市計画や下水道事業計画などの変更手続きについて、県と協議しながら年度内の完了をめざし進めている。

須賀・榎戸地区については、今年度、新たな大型エンジンポンプ車への更新を進めており、年度内に納品される予定である。また、この地区では都市計画道路「越谷総合公園川藤線」の計画があり、将来的にはその整備に合わせた雨水対策などが考えられるところなので、機会を捉えて検討していく。

南中周辺地域については、かねてから調整池などの雨水貯留施設の必要性を認識しており、これまで様々な検討を重ねてきたが具体化には至っていない。

治水事業は、長い年月と多くの財源が必要となる。そのためには、しっかりした計画をもって推進していくことが重要であり、引き続き十分に検討しながら取り組んでいく。

# 答えて市長！ 一般質問

今定例会では、9月19日(木)、20日(金)、24日(火)の3日間にわたり18名の議員が市政全般について、市の見解をただしました。主な内容を質問者が要約してお知らせします。詳細は会議録をご覧ください。

会議録は、ホームページや市立図書館で閲覧できますが、今定例会の会議録の提供は、12月上旬となる予定です。



### 小学校通学路の防犯体制の強化を

大泉 日出男



**問** 第4次吉川市防犯推進計画の中で地域と行政、更に県や事業者や警察との役割分担が明記されている。一番身近な「子ども110番の家」は緊急避難場所となるが、加入件数、運用内容、周知、啓発はどのようにされているか。

**答** 本事業は平成11年に吉川警察、PTA連合会、商工会の連携により開始。607件の登録、被害に遭いそうになった時の一時保護、各学校・PTAの活動の中で主体的にご尽力を頂いている状況。

**問** 地域の方のご協力等での「人の目」が大変有効だが、人の目を補完するかたちで防犯カメラを設置することは、犯罪における抑止や未然防止につながり安全性の向上となる。ご所見を伺う。

**答** 防犯推進計画の中で「みんなで力をあわせ犯罪のない、安全で安心のまちづくり」を基本理念としており、地域、PTA、学校、事業者、警察と連携し犯罪を起こさせない環境づくりが重要と考える。今後も引き続き全体の意識の高揚や地域自主防犯活動団体等の連携強化に努めていく。

### 迅速な使用で命救うAED 設置の拡充を

五十嵐 恵千子



**問** 突然の心臓発作を起こした人に電気ショックを与えて救命するAEDは、市内まんべんなく、24時間対応できる状態とする事が重要と考える。①市内設置・利用状況とご意見・ご要望の声は。②これまでの設置に関する研究の経過とコンビニへの積極的なAED設置推進について伺う。

**答** ①8月末現在の市内AED設置箇所数は106箇所。民間施設での利用は把握していないが、公共施設で昨年5月に使用。意見・要望は無し。②屋外やコンビニへAEDを設置した他市の情報収集や課題整理を行い、小中学校の屋外設置を実現。課題はあるが望ましいAEDの運用方法を検討する。

#### ◆認知症の人に寄り添うユマニチュードの取組みを

**問** ユマニチュードとはフランス発祥の認知症ケア技法です。「あなたを大事に思っている」事を相手が理解できるように伝えるこの技法を皆で学び実践する事で、当事者の尊厳を守り、安心して暮らせる吉川市を願い提案。ご見解を。

**答** 認知症の方等がより安心して暮らすために有効な手法と考え、知識の共有と普及を図る。